

2020年の流通・マーケティング戦略

流通ビジョンセミナー

「流通のサステナブル・グロース」
—— 持続可能な成長戦略 ——

流通大会 2020

2020. 2. 5
wed. 6
thu. 7
fri.

ベルサール九段 (東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル)

主催 **di** 公益財団法人 **流通経済研究所**

後援 日本商工会議所、東京商工会議所、日本スーパーマーケット協会、日本チェーンドラッグストア協会、
日本小売業協会、日本チェーンストア協会、日本プロモーション・マーケティング協会、
日本ボランティアチェーン協会、日本食糧新聞社、流通システム開発センター

流通経済研究所と流通大会

公益財団法人流通経済研究所では、わが国の流通が直面する諸課題・問題点について流通業界のトップの方々ならびに行政の幹部、専門の学識者・研究者等の英知を集め、解決に向けた情報発信、提言を行う機会として「流通大会」を毎年1回開催しております。流通の最先端を知る機会として各界より注目を集めており、昨年度は410社の方に参加いただきました（開催3日間のべ参加社数）。

2020年 流通大会のテーマ

日本の流通は、令和の幕開けを契機とした構造変化の局面にあります。

人口減少と少子高齢化の進行に伴う消費構造の変化に加え、

ITの活用やキャッシュレス化の進展による顧客接点の多様化、

さらには人材不足への対策や環境対応といった流通インフラの質的改善を求める

諸課題に対し、流通業界は十分な速度をもって対応し、

新たな成長軌道に乗せていくことが求められています。

そこで流通大会2020は「流通のサステナブル・グロース——持続可能な成長戦略」を

テーマに掲げ、日本の流通に携わる事業者の課題解決と

今後あるべき事業戦略について提言します。

今回はとくにSDGs*やESG**に基づく社会貢献・環境対策を

自社の成長戦略に結びつける動きや、

多様な接点を通じた顧客体験の強化に焦点を当て、

先進的な取り組みを進めている小売業・卸売業・メーカーより、

注力すべきポイントや実践における課題を報告します。

*SDGs= 国連が2015年に示した持続可能な成長に向けた開発目標

**ESG= 環境、社会、ガバナンスの視点を企業評価に取り入れようとする動き

2/5
水

テーマ1

令和時代の
流通・マーケティングの
変革

令和時代を迎え、流通事業者は自社を取り巻く環境変化をビジネスチャンスに変えて、生活者のニーズを的確に捉えた事業革新と、企業価値向上への取り組みが改めて求められています。1日目は消費財流通における今日的な政策の方向性や重要課題を報告し、消費財流通が取り組むべき事業戦略のあり方を提言します。

2/6
木

テーマ2

SDGs・ESGが
変える流通

企業経営においてSDGsやESGの視点が必要になる中、先進的な企業は、これらの視点を自社事業や顧客基盤確立にもつなげる施策立案、共通言語活用による組織力強化、コーポレートブランド向上に生かしています。流通業が社会の持続可能性と自社の持続的成長を両立するために必要となる、経営環境を捉える視点、注力すべき戦略や取り組みを検討し、今後の流通を展望します。

2/7
金

テーマ3

顧客体験の強化を通じた
流通革新

現在、消費者と企業や製品ブランドとの接点は、リアル店舗、ECサイト、企業Webサイト、アプリ、SNSなど、多岐に渡ります。そこで、様々な接点で顧客体験を創出し顧客の支持を得ている成功事例、小売業におけるデジタル・トランスフォーメーション事例、及びキャッシュレス決済の進展や最新動向についての実務家・研究者の報告から、顧客体験の強化を通じた流通革新の展望について検討します。

2020年

2/5

水

テーマ1

令和時代の

流通・マーケティングの革新

時間

講演テーマ・講演者

9:30～9:40

▶ **ご挨拶と問題提起**

公益財団法人 流通経済研究所 理事長 青山 繁弘

9:40～10:45

▶ **わが国流通の課題と経済産業省の流通政策について**

これからの流通を展望する上で、産業全体の視点を持つことが重要です。そこで、経済産業省で消費・流通政策を担当する伊藤氏より、日本の流通に関わる課題認識、流通政策の考え方と方向性について解説いただきます。

経済産業省 商務情報政策局 商務サービスグループ 消費・流通政策課長 伊藤 政道 氏

11:00～12:30

▶ **消費と流通の今を捉え、先を読む2020**

- 直近の消費、流通の動向と2020年の課題
……「応援」の年、還元競争と出口戦略、オリンピック年の課題、主要な制度の変化など
- コンビニエンスストア、スーパー、ドラッグストアなどの主要な小売業の動向から
- 2020年代の展望と課題……厳しい時代の到来、課題となる「進化」の方向、主なイベントと対応の方向

公益財団法人 流通経済研究所 理事 / 拓殖大学 名誉教授 根本 重之

12:30～13:30

昼食休憩（昼食＋懇親会）

※お弁当をご用意いたします。
また、懇親いただけるよう、別室にデザートや飲み物をご用意しております。

13:30～14:40

▶ **物流の新しい潮流 ～フィジカルインターネットとヤマトグループの戦略～**

物流の労働力不足が深刻化するなか、持続可能な物流をいかに構築するかが喫緊の課題となっています。ヤマトホールディングスにて代表取締役社長・会長を歴任し、現在はヤマトグループ総合研究所理事長の木川氏より、流通・物流事業者が、今日の物流問題をどのように認識するべきか、将来に向けて何を考えるべきか、「フィジカルインターネット^(※)」等を含む物流の将来展望等について、お話しいただきます。
(※) 持続可能な物流実現のため、トラック等の輸送スペースと、倉庫の保管スペースを物流会社がシェアリングし、稼働率を高め、燃料消費や環境負荷を低減する物流システム概念

ヤマトホールディングス 株式会社 前会長 / 一般社団法人 ヤマトグループ総合研究所 理事長 木川 眞 氏

14:55～16:05

▶ **たくさんの失敗と、ほんの少しの成功**

サントリー食品インターナショナルは、「水と生きる」の約束のもと、全世界5リージョンに事業基盤を持ち、国内では「サントリー天然水」「BOSS」「サントリー烏龍茶」等のロングセラーブランドを展開しています。飲料ビジネスの経営環境が変革期を迎える中、同社のマーケティングについて、齋藤社長よりお話しいただきます。

サントリー食品インターナショナル 株式会社 代表取締役社長 齋藤 和弘 氏

16:20～17:30

▶ **サミットが推進するスーパーマーケットの改革**

「サミットが日本のスーパーマーケットを楽しくする」——。竹野浩樹社長は2016年にトップに就任して以降、この事業ビジョンを掲げ、SM改革を推進してきました。好調な既存店業績に象徴されるように利用者の支持を広げており、そのアプローチは業界内外で注目を集めています。今回は竹野社長より改革で取り組んできたことや、注力していることをテーマにお話しいただきます。

サミット 株式会社 代表取締役社長 竹野 浩樹 氏

※プログラム時刻が若干変更となる可能性がございます。あしからずご了承ください。

2020年

2/6

木

テーマ2

SDGs・ESG が変わえる流通

時間

講演テーマ・講演者

9:30～10:45

▶ 流通における持続可能性向上と食品ロスなど廃棄削減の取り組みと展望

企業経営においてSDGsやESGの視点が重要になる中、先進的な企業は、これらの視点を自社事業や顧客基盤確立にもつなげる施策立案、共通言語活用による組織力強化、コーポレートブランド向上に生かしています。流通業が社会の持続可能性と自社の持続的成長を両立するために必要となる、経営環境を捉える視点、注力すべき戦略や取り組みを検討し、今後の流通を展望します。

公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員 石川 友博

11:00～12:15

▶ 持続可能性へのイオンの挑戦

イオングループは、「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」を両立させるサステナブル経営を推進しています。2050年までにCO2排出ゼロを目指す「イオン脱炭素ビジョン2050」、持続可能な調達方針や食品廃棄物削減目標など、野心的な目標をいち早く掲げ、事業活動を通じて環境・社会課題を解決する様々な取り組みを展開しています。イオン株式会社の鈴木氏より、イオングループの考え方、現在の取り組み状況、今後の展望、サプライヤーへの期待等についてお話しいただきます。

イオン株式会社 環境・社会貢献部 部長 鈴木 隆博 氏

12:15～13:15

昼食休憩 ※お弁当をご用意いたします。

13:15～14:30

▶ CGCグループが考えるCSR・CSV

CGCグループは、食品流通の持続可能性向上に向け、早くから食品廃棄削減、物流の環境負荷低減に取り組んできました。直近では、CSVやSDGsの視点を取り入れ、取り組みを一層強化し、「包材の適正化運動」「広域物流のモーダルシフトの推進」など、環境負荷削減と売場や物流の生産性向上を目指した取り組みを進めています。シジシージャパンの芹澤氏より、社会貢献活動を含めCGCグループが考えるCSR・CSV活動、現在注力する取り組み、今後の展望についてお話しいただきます。

株式会社 シジシージャパン 常務取締役 企画本部 本部長 芹澤 政満 氏

14:45～16:00

▶ ESG・SDGsとこれからの企業経営

企業の社会的責任が改めて問われる中、企業経営において短期の財務成果のみならず、長期の企業価値を高める視点が重要になっています。そこで、投資家の立場から、ESG（環境・社会・企業統治）への取り組み等による、企業の持続的な価値創造を評価する洪澤氏より、これからの企業経営のあり方について、お話しいただきます。

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役 CEO 洪澤 健 氏

16:15～17:30

▶ セブン&アイグループが推進する持続可能なグループ商品戦略と将来展望

セブン&アイグループは、持続可能な新たな成長戦略を実現すべく、2019年3月にグループ横断の取り組み推進を担う「グループ商品戦略本部」を新設し、商品調達・物流・商品開発の改革に取り組んでいます。グループ商品戦略本部長の石橋氏より、現在注力する取り組み、今後の展望、サプライヤーへの期待等についてお話しいただきます。

株式会社 セブン&アイ・ホールディングス 常務執行役員 グループ商品戦略本部長 石橋 誠一郎 氏

※プログラム時刻が若干変更となる可能性がございます。あしからずご了承ください。

2020年
2/7
金

テーマ3 顧客体験の強化を通じた 流通革新

時間

講演テーマ・講演者

9:30 ~ 10:45

▶ デジタル化の進展に伴う小売業およびメーカーの顧客体験マーケティング

ネット通販の成長にともない、デジタル化を進めないリアル小売業の将来は厳しく、早急な対応が迫られています。本報告では、リアル小売業はどのようなデジタル戦略を展開すべきか、ネット通販のデジタル戦略および既存のリアル小売業の対応戦略について報告します。また、小売業のデジタル化の進展にともなうブランドの顧客接点の多様化および顧客接点から収集されるビッグ・データのメーカー・マーケティングへの活用について検討します。

公益財団法人 流通経済研究所 理事 / 中央大学ビジネススクール 教授 中村 博

11:00 ~ 12:15

▶ 小売業のデジタル・トランスフォーメーションと、その展開

小売業を取り巻く環境が大きく変化中、実店舗小売業が変化に対応するためには、新たな技術の活用が欠かせません。今回は、株式会社カスミ/ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社で、デジタル・トランスフォーメーションを推進されている山本氏より、デジタル戦略を通じた顧客体験の強化を中心に、実際の取り組み事例や今後の展開についてお話しいただきます。

株式会社 カスミ 専務取締役 上席執行役員
ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス 株式会社 ICT 本部長 山本 慎一郎 氏

12:15 ~ 13:15

昼食休憩 ※お弁当をご用意いたします。

13:15 ~ 14:25

▶ PayPayが推進するキャッシュレス化の取り組みについて

2019年10月1日にスタートした「キャッシュレス・ポイント還元事業」など、政府の後押しもあり、今後さらなる成長が期待されるキャッシュレスの世界において、PayPayがどのような取り組みを進めていくのか、マーケティングや販促への活用可能性なども含めて、PayPay株式会社 中山社長にお話しいただきます。また、当日は、ご参加いただく皆様から事前にいただいた質問にもお答えいただく予定です。

PayPay株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO 中山 一郎 氏

14:40 ~ 15:55

▶ “無関心な若者”需要を獲得し、市場活性化を推進する NONIOのマーケティング戦略

ライオン株式会社のNONIOブランドは、オーラルケアに対する関心の低い若年層の支持を得て人気を博しています。今回は、NONIOブランドがもたらす生活価値を多様な接点で訴求し、需要創出に取り組んでおられるブランドマネジャーの柳田氏より、消費者インサイトに基づく価値訴求のあり方や、マーケティングと営業の連携などについて、お話しいただきます。

ライオン株式会社 ヘルス&ホームケア事業本部 オーラルケア事業部 ブランドマネジャー 柳田 洋顕 氏

16:10 ~ 17:30

▶ ファミリーマートが取り組むデジタル戦略

デジタル戦略を強化している株式会社ファミリーマートは、様々な企業と提携するオープン主義を掲げるなど、スピード感のある事業革新を推進しています。今回は、デジタル戦略部長の植野氏より、ファミリーマートのデジタル戦略と、その中でファミペイを導入した狙いや、今後目指す方向性などについてお話しいただきます。

株式会社 ファミリーマート シニアオフィサー 経営企画本部 デジタル戦略部長 植野 大輔 氏

※プログラム時刻が若干変更となる可能性がございます。あしからずご了承ください。

公益財団法人 流通経済研究所の概要

沿革

流通経済研究所は、1963年(昭和38年)に田島義博が創立した任意団体流通経済研究所が母体となって、1966年(昭和41年)10月に財団法人に改組し、設立されました。

以後、流通・マーケティング専門のシンクタンクとして、50年以上にわたり、各種の研究調査を実施しています。

さらに 2013年(平成25年)4月1日からは、「公益財団法人 流通経済研究所」として新たにスタートいたしました。設立以来、研究所は、政府・自治体等の流通政策に関する研究調査やそれに基づく提言を実施するとともに、産業界や個別企業等に対して実践的なコンサルティング活動等を実施しています。

また、流通・マーケティングに関する数多くの人材を学界に送り出しており、産・官・学の連携を担う機能を果たしています。

設立の目的

流通経済研究所は、流通経済に関する研究調査、情報収集・発信・普及啓蒙及び人材の育成等を通じて流通及びマーケティングの改善を図り、日本及び世界経済の均衡ある発展に寄与することを目的としています。

事業内容のご案内

【共同研究会事業】

製配販協働でのマーチャンダイジングの革新を考える
店頭研究事業(SMD共同研究機構)や、
流通の主要な専門テーマ別に設けた各種研究会を主宰しています。

【委託調査・コンサルティング事業】

行政関連団体より受託する政府系委託調査や、
民間企業の委託による市場調査を展開しています。
このほか個別企業の依頼に応じたコンサルティング事業を手掛けています。

【人材開発】

流通・マーケティングの知識、ノウハウ習得を目的とした公開講座の運営や、
個別企業向け研修を手掛けています。
また、最新の流通問題をテーマに扱うセミナーも定期的を開催しています。

【情報サービス事業】

国内外の流通・マーケティングに関する各種情報を収集・提供しています。
また、研究開発の成果を、機関誌『流通情報』をはじめとした刊行物や、
レポート出版物を通じて公表しています。

開催要項

開催日時 2020年2月5日(水)、6日(木)、7日(金) 9:30~17:30

会場 ベルサール九段
(東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル)
※地下鉄・九段下駅下車 5番、7番出口徒歩3分

参加対象 2020年以降の流通・マーケティングに関心のある方

- 小売業、卸売業、メーカーのトップマネジメントおよび経営幹部
- 上記業界の経営企画、営業企画、マーケティング、総務、CSR・SDGs担当部門等の担当者
- 上記業界の業界団体関係者
- 流通をサポートする専門分野の企業の方 など



参加申込要項

参加費 1名様につき

- 2月5日(水)..... 50,000円 (税込 55,000円)
- 2月6日(木)..... 47,000円 (税込 51,700円)
- 2月7日(金)..... 47,000円 (税込 51,700円)
- 3日間参加[2月5日~7日の3日間通し] 130,000円 (税込 143,000円)

参加申込方法

- ①申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページからお申込みください。
[URL] https://www.dei.or.jp/ryutsu_fes/
- ②お申込み受付後、ご請求書を郵送させていただきます。
- ③参加費は、請求書に記載されております「お支払い期限」までに、指定の銀行口座へお振り込みください。
- ④受講票は、開催1週間前にご参加者宛にメールにてお送りいたします。
- ⑤開催間際のお申込みは、ご参加いただけない場合もございます。
あらかじめお電話でご確認ください。



ご注意と免責事項

- お申込み後、当日欠席の場合も参加費を申し受けます。ご都合がつかない場合は、代理の方がご出席ください。
- 講演の録音・撮影は、ご遠慮ください。
- 資料はご参加者のみにお渡しします。
- 資料のデータでのお渡しはいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- 天災地変、交通事情等、弊所が管理できない事由により、内容の一部変更及び中止のために生じた損害等には責任を負いかねますことをご確認ください。

お問い合わせ

公益財団法人 流通経済研究所「流通大会2020事務局」 担当:伊藤、中田、渡邊
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル10F
TEL.03-5213-4531(代) FAX.03-5276-5457